

# 障害者の地域生活支援も踏まえた障害者支援施設の在り方に係る検討会 これまでの議論のまとめ（概要）

## 検討会設置の趣旨

- 障害者支援施設には様々な役割があるなか、更なる地域移行を進めていくため、障害者支援施設の役割や機能等を整理することが、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定検討チーム等において求められたことを踏まえて、検討会を設置した。
- 上記を踏まえ、**障害者支援施設の役割・機能、あるべき姿及び今後の障害福祉計画の目標の方向性について検討**を行った。

## 議論のまとめのポイント

### 1 障害者支援施設に求められる役割・機能、あるべき姿

#### ① 利用者の意思・希望の尊重

どこで誰と、どのように生活したいか本人の意思・希望が尊重される意思決定支援の推進が重要。本人にわかりやすい情報の提供や、あらゆる場面で体験や経験を通じた選択の機会を確保し、本人の自己実現に向けた支援を行う。

#### ② 地域移行を支援する機能

施設から地域生活への移行を支援する機能として、地域と連携した動機付け支援や地域移行の意向確認等に取り組む。

#### ③ 地域生活を支えるセーフティネット機能

地域での生活が困難となった場合の一時的な入所や、施設の有する知識・経験・支援技術等の専門性の地域への還元、緊急時や災害時における地域の拠点としての活用を推進する。

#### ④ 入所者への専門的支援や生活環境

強度行動障害を有する者や医療的ケアが必要な者などへの専門的支援や、重度化・高齢化した利用者への対応、終末期における看取りまでの支援は、地域における支援体制づくりが求められているとともに、特に施設において求められている役割。

入所者の暮らしの質の向上に資する生活環境（居室の個室化、日中活動の場と住まいの場の分離など）にすることが重要。

### 2 今後の障害福祉計画の目標の基本的方向性

- 施設待機者の考え方や把握については、本人ではなく家族による入所希望の扱いや複数施設への申込者の算定方法、緊急性の把握の必要性等の課題について考慮する必要。**実態把握している自治体の事例の共有等、とりうる対応を検討。**
- 次期障害福祉計画でも**地域移行者数や施設入所者数の削減の目標値の設定は必要**。それ以外の目標（障害の程度や年齢に応じた目標等）の設定については、まずは実態把握の方策も含め対応を検討。

## 今後の対応

- 本検討会の議論のまとめも踏まえ、**第8期障害福祉計画（令和9～11年度）に向けた基本指針の目標等の在り方は障害者部会で議論**していくとともに、**具体的な報酬等の在り方については次期報酬改定等に向けて検討。**

# (参考) 障害者の地域生活支援も踏まえた障害者支援施設の在り方に係る検討会

## 1. 趣旨

- 障害者支援施設は地域移行を推進すること、重度障害者等への専門的な支援を行うことなど、様々な役割があるが、今後、更なる地域移行を進めて行くため、障害者支援施設の役割や機能等を整理することが、令和6年度障害福祉サービス等報酬改定検討チーム等において求められている。
- 検討に向けた材料を整理するため、「障害者の地域生活支援も踏まえた障害者支援施設の在り方に係る調査研究（令和6年度障害者総合福祉推進事業）」において委員・協力団体からの意見収集、入所施設の実態調査、施設・法人ヒアリングや当事者・保護者ヒアリングを実施した。
- 上記を踏まえ、障害者支援施設の役割・機能を整理し、障害福祉計画の基本指針の見直しや次期報酬改定に向けた検討を行う。

## 2. 検討事項

- 障害者の地域生活支援も踏まえた障害者支援施設の在り方について
- その他

## 3. 開催状況

- 第1回検討会（令和7年5月26日）
- 第2回検討会（令和7年6月25日）
- 第3回検討会（令和7年8月20日）
- 第4回検討会（令和7年9月16日）

## 4. 構成員

|        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 安部井 聖子 | 全国重症心身障害児（者）を守る会                   |
| 荒井 隆一  | 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 代表       |
| 今村 登   | 特定非営利活動法人 D P I 日本会議 事務局次長         |
| 岩上 洋一  | 一般社団法人 全国地域で暮らそうネットワーク 代表理事        |
| 岡部 浩之  | 特定非営利活動法人 全国地域生活支援ネットワーク 副理事長      |
| ◎小澤 温  | 筑波大学 名誉教授                          |
| 児玉 和夫  | 公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会 理事長            |
| 佐々木 桃子 | 一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会 会長            |
| 佐藤 則子  | 当事者構成員                             |
| 相馬 大祐  | 長野大学 社会福祉学部 准教授                    |
| ◎曾根 直樹 | 日本社会事業大学 社会事業研究所 客員教授              |
| 高橋 朋生  | 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害サービス課 課長         |
| 富岡 貴生  | 特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会 代表理事         |
| 中尾 富嗣  | 社会福祉法人全国社会福祉協議会全国社会就労センター協議会 常任協議員 |
| 野澤 和弘  | 植草学園大学 副学長                         |
| 樋口 幸雄  | 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 会長              |
| 福嶋 翔太  | 当事者構成員                             |
| 松山 香里  | 品川区福祉部障害者支援課 課長                    |
| 三浦 貴子  | 社会福祉法人全国社会福祉協議会全国身体障害者施設協議会 副会長    |
| 横川 豊隆  | 当事者構成員                             |

◎座長、○座長代理

（五十音順・敬称略）